



KAIKE 101

皆生温泉開発 100 周年記念事業
令和 3 年度米子市立山陰歴史館企画展

皆生温泉開発 100

皆生温泉 開発 100 年の歴史



1. 平成 14 年度 皆生海岸斜め写真、2. 第 1 号泉源 (大正 10 年 11 月)、3. 皆生温泉西小路/松林 (昭和初め頃)、4. 皆生温泉停留所 (昭和初め頃) ※1. は国土交通省日野川河川事務所、2. は皆生温泉観光株式会社所蔵、3. 4. は米子市史編さん資料

令和 3 年

令和 4 年

会 期: **11 月 13 日 (土) ~ 1 月 10 日 (月・祝)**

[毎週火曜日 (11/23 は開館) 及び年末年始 (12/29 ~ 1/3) 休館]

開館時間: 午前 **9** 時半 ~ 午後 **6** 時 (入館は午後 5 時半まで)

会 場: 米子市立山陰歴史館 第 1 展示室

観 覧 料: 一般 **300** 円 (15 名以上の団体は 1 名 250 円)

※ 70 歳以上の方、大学生以下、障がいのある方 (介護者 1 名を含む) は無料

主 催: 皆生温泉開発 100 周年記念事業実行委員会、米子市、米子市教育委員会、(一財) 米子市文化財団 [米子市立山陰歴史館]

協 力: 皆生温泉観光株式会社、国土交通省日野川河川事務所、鳥取県立公文書館、祐生出会いの館

●会場・問合せ先: 米子市立山陰歴史館 鳥取県米子市中町 20 番地 TEL(0859)-22-7161

11 月 13 日 (土)、14 日 (日) 及び
1 月 8 日 (土)、9 日 (日)、10 日 (月・祝) は
「関西文化の日」参加事業のため 無料



KAIKE ONSEN RESORT 100th ANNIVERSARY
皆生温泉開発 100周年

皆生温泉 開発 100年の歴史

KAIKE101

令和3年 令和4年
会期:11月13日(土)～1月10日(月・祝)

皆生温泉は、明治の初め頃、浜から約200mの沖に泡の吹き出る場所が発見されたのが始まりで、明治33年(1900)頃浅瀬に湧き出る温泉が、漁師たちによって発見されました。

当時の皆生は、松林と一面の砂浜が広がる漁村でした。皆生村の村営公衆浴場は、名ばかりの物置小屋同然の建物でした。皆生温泉の積極的経営に乗り出したのは有本松太郎で、大正10年(1921)「皆生温泉土地株式会社」(現皆生温泉観光株式会社)を設立し、一大温泉郷の実現を目指しました。有本は京都の街区を手本に都市計画をすすめると共に、米子駅、皆生温泉間に電車を走らせ、競馬レースを展開するなど、様々なイベントを開催して温泉街の賑わいを図り、皆生温泉を山陰随一の温泉歓楽街としました。

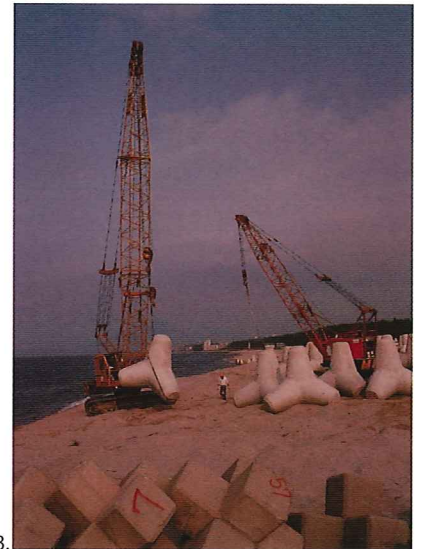
本展では、令和2年(2020)に皆生温泉が開発されて100周年を迎えたことを記念し、写真や関連資料からその歴史を紹介します。



1.



2.



3.

1. 皆生競馬場(昭和10年頃)、2. 皆生温泉、3. 皆生護岸工事(昭和51年7月)
※1. は米子市史編さん資料、2、3. は鳥取県立公文書館所蔵

企画展 淀江傘の歴史(仮称) 今後の企画展

淀江傘誕生から200年を記念し、作品や関連資料を紹介します。

令和4年

会期:2月19日(土)
～3月20日(日)

会場:第1展示室

観覧料:無料



「淀江傘」遠澤利寛撮影
米子市立山陰歴史館蔵

常設展示では、米子城や鉄道関係資料、昔の生活道具などを展示しています。常設展示は観覧無料です！イベント等の情報は、歴史館HPやTwitterをご覧ください♪



歴史館 Twitter



歴史館 HP



●交通アクセス

- JR 米子駅より徒歩 20分
 - 米子駅前バスターミナルから各方面行のバス「米子市役所前」下車すぐ
 - 米子空港よりタクシー約 20分
 - 山陰道米子南ICより市街地方面へ約 10分
- ※米子市役所駐車場をご利用ください。駐車券を受付へ提示していただきますと、2時間まで無料になります。

●問合せ先: 米子市立山陰歴史館

※毎週火曜日、年末年始(12/29～1/3)休館
開館時間 9:30～18:00(入館は17:30まで)

〒683-0822 鳥取県米子市中町 20

TEL:(0859)22-7161 FAX:(0859)22-7160